

福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2022
3月号
March

No.462



南砺市社協が令和3年度に開催した「ふくし・ボランティア体験講座」の様子

目次

CONTENTS

特集 P2~4 福祉教育の新たな取り組み ~福祉教育推進員とこれからの福祉教育~

情報フラッシュ

県健康・福祉人材センターから P5

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から

令和3年度全社協会長表彰・中央共募会長表彰伝達式 P6

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組

あかいほねボックス P7

NPO法人の紹介 NPO法人もったいないフードバンクとなみ(砺波市)

福祉用具展示品の紹介 P8

ボランティアグループ紹介 香香ミュージック(射水市)

令和3年度東海北陸ブロック市区町村社協研究集会報告 P9

企業のトップが考える「地域との共生」

富山県生活協同組合 代表理事・専務理事 寺岡 富美夫 氏 P10

ねりんピック神奈川2022 参加者募集

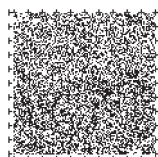
シニアタレント・語り部を派遣します

JA県女性協食料品寄付報告 P11

フリートーク

ひきこもり家族自助会とやま大地の会 代表 山岡 和夫さん

寄付報告/県社協のおもな動き/編集後記 P12



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

福祉教育の新たな取り組み

福祉教育推進員とこれからの福祉教育

社会構造の変化や人々の暮らしの変化によって、福祉教育の重要性はますます高まっています。全国社会福祉協議会では、今後の福祉教育推進において地域で活躍する人材の養成を目的に、令和元年度から「全国福祉教育推進員研修」を実施しています。この動きを中心とした福祉教育の新たな取り組みを紹介するとともに、これからの福祉教育について考えます。

地域福祉と福祉教育

「地域福祉は福祉教育に始まり福祉教育に終わる」と言われているように、地域共生社会の実現には福祉教育の実践が欠かせません。これは学童期に高齢・障がい者理解を深めることに限らず、地域での孤立防止や見守りの担い手確保などの観点からみて、地域住民が主体的に福祉活動に関わるきっかけづくりをする必要性があるという意味を含んでいます。住民自身が地域生活課題に気づく力をつけることを目的として、これまで社協は福祉教育の取り組みを進めてきました。

「全国福祉教育推進員研修」とは

全国社会福祉協議会では、都道府県・指定都市域で福祉教育を推進する人材の養成を目的として、令和元年度から

「高齢者や障がい者は不便な生活を送っている」「助けが必要なたちだ」といったネガティブなイメージだけが参加者の印象に残り、従来の体験型の取り組みでは、個人の尊重や地域での共生といった福祉の理解を十分に得られない可能性があることが問題となっています。体験を一過性の経験で終えるだけでなく、その後の振り返りや高齢者・障がい者との交流を通して何を伝えるかが重要となっています。

「全国福祉教育推進員研修」を実施しています。福祉教育推進員は、

- ① 今日的な福祉教育の意義、必要性の理解、それらを伝えていくことができること
- ② 福祉教育における協同実践の企画・調整・推進ができること
- ③ 県域・広域で福祉教育を推進する方策やネットワークを構築するための支援ができること

の3つの役割のもとに、都道府県・指定都市域のネットワークを活かしながら各市町村の福祉教育を推進していくこととされています。

富山県では令和3年度に7名がこの研修を修了しました。オンデマンド配信された研修ビデオを視聴後、目的や連携

する団体、振り返りの方法などについて具体的な「福祉教育カリキュラム」を作成し、受講者同士で評価しました。また、研修後には連絡会を開催し、より効果的な福祉教育の取り組みを推進することとしています。以下は、受講者の感想を抜粋したものです。

受講者の感想（一部）

● 目的や意義を明確にして関係団体に提案する必要があるということが分かった。また、福祉教育を実践する側の学びを意識しなければならなかったことが分かった。

● イベント的に実施するのではなく、普段の生活の中で福祉教育の視点を意識したい。学校においても、すべての教科の授業において福祉を意識できるように働きかけるなど検討したい。

● 高齢・児童・障がいに限らず幅広い分野について学びを提供する必要がある。

● 社協側だけでなく、講師が何を伝えたいかということも踏まえて取り組むべきだと感じた。

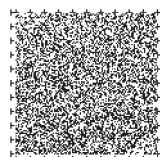
● 福祉教育推進員同士も連携して大きなプログラムに取り組めたら効果的なプログラムができと思う。戦略的にかかわってきたい。

● 福祉について学びを深めていけばケアネット活動への参加なども期待できる。

地域生活課題に応じた福祉教育カリキュラムを進めるにあたっては、福祉教育推進員だけでなく、学校・施設・地域のボランティアなど多様な主体の参画が求められます。誰もが安心して生活できる地域のプラットフォームづくりを担う社協として、今後も効果的な福祉教育の取り組みに挑戦してまいります。

○問い合わせ先

富山県社会福祉協議会
TEL 076-432-2958



福祉教育の取り組みとこれからについて

現在、福祉教育推進員を中心に、福祉教育の新たな取り組みが進められています。今回は、令和3年度の「全国福祉教育推進員研修」を受講された、南砺市社会福祉協議会の水口良幸さん・富山福祉短期大学教授の鷹西恒さんに、福祉教育の取り組みとこれからについてお話を伺いました。



南砺市社会福祉協議会
水口良幸さん

Q 南砺市社協が進めている取り組みについて教えてください。

A 南砺市社協では「ふくし・ボランティア体験講座」という、小中学生の親子を対象とした福祉教育カリキュラムを企画・開催しています。この講座の目的は、次世代を担う子どもやその家族に、障がい者の実生活や活動を知ってもらうこと。そして身近にあるボランティア活動を通して、参加者が福祉やボランティア

に関心を持つきっかけをつくることです。

福祉教育は子どもを対象としたものと捉えがちですが、この講座の対象を小中学生の親子とした背景には、働く世代にも福祉やボランティアに関心を持ってもらいたいという狙いがあります。

令和3年度に実施した「ふくし・ボランティア体験講座」は、2回にわたって行いました。1回目の「車いすツインバスケットボール体験」は、車いすツインバスケットボールクラブ「富山Super Guts」のメンバーを講師としてお招きし、車いすでの日常生活についてお話いただきました。また、参加者は実際に車いすツインバスケットボールの体験をしました。



車いすツインバスケットボール体験の様子



実際に車いすで会場を移動する子供たち

2回目は当初、市内の福祉施設でのボランティア体験を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で実施ができず、代わりに「クリスマス交流会」を企画しました。参加者は実際に車いすを使って会場を移動し、車いすの方がどのような日常生活を過ごしているかを体験しました。

この講座で大切にしたのは、参加者が「障がいのある方は大変」という印象だけで終わらず、その大変さをどのように解消しているかを伝えることです。例えば「急勾配で車いすが進まないところは、電動車いすを使うとできる」など、バリアを解消するための方法やツールがあることを紹介しました。私たち社協職員からではなく、当事者から直接伝えていただくことで、より参加者の理解が深まったように思います。

Q 開催してみても気づきはありましたか？

A 参加された方の感想や振り返りが重要だと思いました。これは、後日「全国福祉教育推進員研修」に参加して改めて感じたことでもあります。

1回目は夏の暑い時期に開催したこともあり、落ち着いて参加者からのリアクションを求めることが難しかったように思います。2回目は参加者にアンケートをとり、「車いすに実際に乗ってみると、扉の幅がギリギリで手をぶつけそうになり怖いことがわかった」「車いすの方の目線で考えることができた」といった回答がありました。

体験したこと、学んだことを、その場で参加者同士が共有できたら、より効果的なカリキュラムになるのではないかと感じています。

Q 「全国福祉教育推進員研修」に参加して感じたことはありますか？

A 他の市町村社協も、私たちと同じように、子どもも大人も幅広く参加できるカリキュラムを作っていきたいという考えを持っていました。「福祉教育の対象を子どもに限定しない」というのは一つのキー

ワードだと感じました。

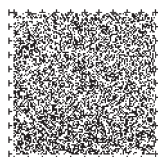
また、福祉教育の体験や学習を通して、参加者の意識がどのように変化したかを確認するために、事前学習・事後学習を取り入れる手法があることを知りました。ぜひ私たちも取り入れていきたいですね。



参加者の集合写真

Q 今後の展望についてお聞かせください。

A ケアネット活動など、身近な支え合いの活動には福祉教育が欠かせません。地区単位で福祉に取り組んでいるみなさんからは担い手不足という話も聞くので、今後は、地域の福祉を担う人材の育成にも力を入れていきたいです。



A 大学2年の時に交通事故に
Q 福祉教育に携わろうと思った
きっかけを教えてください。



富山福祉短期大学
教授 鷹西 恒さん

○問い合わせ先
南砺市社会福祉協議会
地域福祉課 西サテライト
TEL 0763-5211222

そのためには地域住民をはじめ、社協と日頃から関わりのある企業の方に受講していただけるような「大人の福祉教育」のカリキュラムが必要だと感じています。高齢者・障がい者・医療・災害など、さまざまな視点から福祉を考えることができるカリキュラムを作っていきたいです。

また、社協全体の課題として、福祉教育に関わるのはボランティアコーディネーターを中心として、限られた職員での対応になりがちだと感じています。役割を持って人だけでなく、社協全体で福祉教育に取り組んでいけたらいいですね。



鷹西教授の講演の様子

遭い、頸髄を損傷して以来車いす生活を送っています。リハビリを経て建設会社で働いていた頃、地元の小学校の福祉教育の一貫で、小学5年生と交流する機会がありました。ある日子供たちと給食を食べると、「私たちと同じものを食べるんですね」と言われて一瞬ドキッとしたんです。これは真剣に何か伝えないといけないと思いました。

その後も子供たちと交流していくなかで、「街で困ったらどうするんですか?」と聞かれたり、「段差が登れないんですね」と気付いてもらったり、障がい者に興味を持ってくださっているのを実感しました。今から20年以上前の話ですが、障がいの当事者として、子供たちと交流し、何かを感じてもらう機会を作っていくべきだと感じました。



車いすバスケットボールサークル「REAL」の活動風景

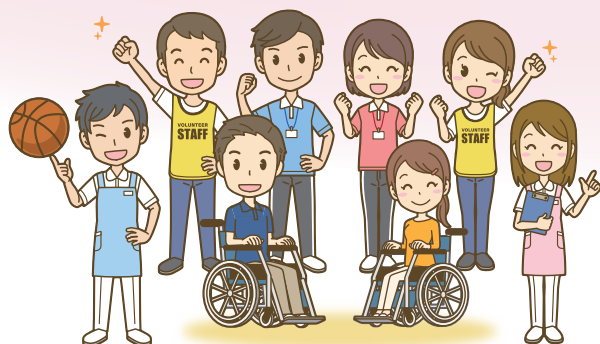
Q 福祉教育について感じていることはありますか?
A 現在は富山福祉短期大学の教授として、障がいのある方への理解、思いやりの気持ちなどを学問として教えています。授業やテキストで学ぶことはもちろん大切ですが、それ自体が福祉教育と言えるのかどうかは別です。まずは実際に見て、感じてもらうことが大切だと思っています。私も授業を受け持つだけでなく、車いすバスケットボールサークルや地域活動支援サークルの顧問をしたり、自主的にボランティア活動をしたいという学生のサポートもしています。

阪神淡路大震災が発生した1995年がボランティア元年と言われています。その後に起きた災害では「あの時に助けてもらったので来ました」とボランティアの輪が広がっていますよね。そういった「お互い様」の気持ちこそ、福祉教育を通して一番教えていくべきことであり、そのきっかけになるのがボランティア活動なのではないかと思っています。

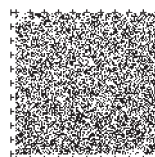
自分からボランティアに参加しようという魂の使命感のようなものは、何らかの教育がないと出せないものです。やはり小中学生の頃から福祉教育を受けることが、その後の人生における行動のヒントになっていくのではないのでしょうか。



地域活動支援サークル「ちょっこりNEO」の活動風景



Q 福祉教育の今後の展望について
お聞かせください。
A 福祉教育には「感じて、考えて、行動する」という簡単なプロセスがあります。そのプロセスを踏む機会を広げるためには、福祉教育カリキュラムを作ることが有効的だと思います。来年度から、社協と学校がコラボレートした福祉教育カリキュラムの開発を計画しています。今後は福祉施設などとも連携しながら、福祉教育を推進していきたいですね。



各種貸付の手引は
こちらから取得
できます。



●介護貸付のご案内●

貸与対象となる方	貸与額	募集期間	免除要件
介護福祉士または社会福祉士養成施設に在学する方	・修学費 月5万円以内 ・入学準備金 20万円 ・就職準備金 20万円 ・国家試験対策費 年4万円 (介護福祉士のみ) ・生活費加算 (該当者のみ、個別金額)	令和4年4月1日～4月22日 (養成校を通じての申込みとなります。)	県内の介護事業所で5年間 (過疎地域での就労の場合は3年間)従事
介護福祉士実務者養成施設に在学する方	修学費20万円(上限)		介護福祉士登録後、県内の介護事業所で2年間従事
他業種で就労していた方であって、介護職員初任者研修等を修了*し、新たに介護分野で就職する方	20万円(上限)	随時募集	県内の介護事業所で2年間従事
他業種で就労していた方であって、介護職員初任者研修等を修了*し、新たに障害福祉分野で就職する方	20万円(上限)		県内の障害福祉事業所で2年間従事
過去に1年以上介護職としての実務経験があり、介護業務に再就職する方	40万円(上限)		県内の介護事業所で2年間従事

*就職後に修了予定の方は、申し込み前に下記へお問い合わせください。

●保育貸付のご案内●

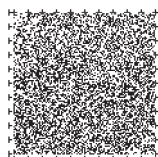
貸与対象となる方	貸与額	募集期間	免除要件
保育士養成施設に在学する方	・修学費 月5万円以内 ・入学準備金 20万円 ・就職準備金 20万円 ・生活費加算 (該当者のみ、個別金額)	令和4年4月1日～4月22日 (養成校を通じての申込みとなります。)	県内の保育所等で5年間 (過疎地域での就労の場合は3年間)従事
保育士資格を持っており、3か月以上保育士として勤務していない、もしくは勤務した経験のない方で、県内の保育所等に新たに勤務する方	20万円(上限)	随時募集	県内の保育所等で2年間従事
未就学児を持つ保育士であり、県内の保育所等に新たに勤務する方	月額27,000円以内		

福祉の職場を目指すあなたを応援します！

**参加希望
問い合わせ先**

県社協
県健康・福祉人材センター
県保育士・保育所支援センター
☎076-432-6156

【開所日】月曜日～金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)
【受付時間】8:30～12:00
13:00～17:00



はじめての福祉の仕事サロン

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。

- 日時 3月24日(木) 13:30～16:00
- 会場 サンシップとやま
- 定員 各月10名(先着順)

※事前に左記へご連絡ください。

「労働基準法の再確認を」(二)

梅原 修一(社会保険労務士)

支給しない取扱いは本条に違反する。

・**第四条 男女同一賃金の原則**
使用者は、労働者が女性であることを理由として、賃金について、男性と差別的取扱いをしてはならない。

※「差別的取扱い」

職務、能率、技能、年齢、勤続年数等によって、賃金に個人的差異があることは、本条に規定する差別的取扱いではないが、男性はすべて月給制、女性はずべて日給制とし、男性たる月給者が、その労働日数の如何にかかわらず月に対する賃金が一定額で、女性たる日給者が、労働日数の多寡によってその月に対する賃金が、前記の男性の一定額と異なる場合は、法第四条違反である。なお、差別的取扱いをするとは、不利に取扱う場合のみならず、有利に取扱う場合も含む。

(昭和二年・発基一七号、
昭和六三年・基発一五〇号等)

※「家族手当等」

家族手当、住宅手当等が、男性労働者については、その妻の所得額の如何にかかわらず家族手当を支給しているのに、女性労働者については、夫の所得が一定額以上ある場合には家族手当を

※「男女間で異なる昇格基準」

昇格に必要な在級・在職年数などが、男女間で異なる基準を定め、これにより賃金格差が生じている場合には、本条に違反する。

(通達は、「家族手当」と同様)

・第九条(定義)

労働者とは、職業の種類を問わず、事業又は事務所に使用される者で賃金を支払われる者という。

※「法人等の役員」

労働基準法という労働者とは、事業又は、事業所に使用される者で、賃金を支払われる者であるから、法人・団体・組合等の代表者又は執行役員等の如く、事業主体との関係において使用従属の関係に立たない者は、労働者でない。

(昭和三年・基発一四号、
昭和六三年・基発一五〇号、
平成二年・基発一六八号)

令和3年度

全社協会長表彰・中央共募会長表彰伝達式

昨年12月21日、県総合福祉会館福祉ホールにおいて「令和3年度全国社会福祉協議会会長表彰・中央共同募金会会長表彰」伝達式を開催しました。

伝達式開催にあたり、県社

協柴専務理事・事務局長は、表彰者に対しお祝いの言葉を述べるとともに、県内の社会福祉の発展・向上への長きにわたる尽力に敬意を表しました。

式典では、県内表彰者一人ひとりに表彰状が伝達授与されました。

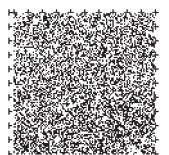
全国社会福祉協議会会長表彰及び中央共同募金会会長表彰は、多年にわたり社会福祉の発展に尽力された関係者・団体・社協や共同募金の奉仕功労者へ授与されるものです。

今年度の県内の表彰状況は、全社協会長表彰が民生委員・児童委員功労4名、社会福祉法人・福祉施設功労7名、社会福祉協議会・民間団体功労5名、永年勤続功労



伝達式に出席された表彰者の皆さんと柴専務理事(前列中央)

14名、社会福祉協議会優良活動表彰1地区社協、中央共募会長表彰は奉仕功労者2名、地区・団体1企業でした。



我が社会福祉法人の 地域における公益的な取組

社会福祉法人浜加積保育園（滑川市）

社会福祉法人浜加積保育園は昭和46年4月に設立。昨年は創立50周年という記念すべき大きな節目を迎えることができました。設立以来「あかるく・つよく・なかよく」の保育目標のもと、人に愛され、思いやりの心を育てる保育を実践するとともに、保護者の皆さん、地域の方々とのより良い協力関係を構築し、社会的な役割を果たすことなどを目指して地域保育の推進に努めて参りました。

その間、保育園で行う様々な教室講師を地域の方々が引き受けて下さり、習字教室等を実施させていただいています。さつまいも苗植え、収穫行事では、地域の畑をお借りして、

地区老人会の皆さんと子ども達が触れ合いながら行事に参加し、苗の植え方を教えていただいたりお手伝い



さつまいも掘りの様子

をしていたりしています。また、年長児が卒園前に開くお茶会では、教室講師や地区老人会の皆さんをご招き、子ども達がお抹茶をお運びし、様々な形で交流を深めて参りました。



お茶会の様子

現在、新型コロナウイルス感染症対策で保育園行事も「安心・安全」を第一に見直しを余儀なくされている現状です。地域の皆さんとの触れ合い事業も2年余り実施できず残念に思っています。今まで、地域の皆さんの成長を育んで下さっていることに感謝し、新型コロナウイルス感染症が終息した際には、交流を再開できることを楽しみにしています。

今後も、保育園のもつ子育てスキル等を積極的に地域に発信し、地域に根ざした保育園を目指し、職員一同努力して参ります。

あかいね トピックス



令和3年度赤い羽根 共同募金運動の募金 実績について

令和3年度の共同募金運動は、この新型コロナウイルス禍が続いている中にもかかわらず、県民の皆様の温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、2月14日現在の募金総額は
165,935,215円
となりました。

お寄せいただきました募金のうち、「一般募金」は、本会に設置する配分委員会の審議及び理事会・評議員会の議決を経て、令和4年度に県内の福祉関係施設、団体やNPO、ボランティアグループなどが実施する地域福祉推進のための事業に使わせていただく予定です。

また、「地域歳末たすけあい募金」は、在宅の障がい者や一人暮らし高齢者など、それ

ぞれの地域において支援を必要とする方々のために、「NHK歳末たすけあい募金」は、福祉施設、団体が実施する年末年始のふれあい交流事業や障がい者の就労を支援するための備品整備などのために使わせていただきます。

関係者一同心から厚くお礼申し上げます。

令和3年度 募金実績 (2/14現在)	
一般募金	133,933,953円
地域歳末	21,396,216円
NHK歳末	10,605,046円
合 計	165,935,215円

令和4年度（令和5年度事業） 赤い羽根共同募金助成 申請受付のお知らせ

本会では、民間の福祉施設や福祉関係団体などが地域福祉推進のために令和5年度に実施する事業について、共同募金の助成申請を受け付けます。

1 対象事業

施設利用者や地域住民の福祉向上を図るための住民参加による地域福祉活動など、社会福祉を目的とした事業を実施するための経常的経費

② 臨時費

地域福祉推進のために必要な備品などの整備や施設の修繕など、社会福祉を目的とした事業を行う施設・団体の臨時的経費

（事業費の4分の3以内で、法人格を有する場合は、上限300万円（車両の上限は200万円）、法人格を有しない場合は、上限100万円）

2 申請書受付期間

令和4年4月1日～4月28日

※ 必着

3 申請先

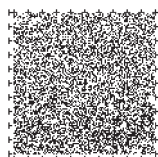
① 経常費のうち、市町村区域内を対象とした事業は各市町村の共同募金委員会へ
② 臨時費及び県広域を対象とした事業や複数の市町村にまたがる事業は本会へ

4 その他

詳しくは本会ウェブサイトをご参照ください。

○ 問い合わせ先

県共同募金会 ☎ 076-431-9800
ウェブサイト <http://www.akaihane-toyama.or.jp>



NPO法人 の紹介

食を通じて人との縁を結び、お互いが助け合う
「困った時はお互い様」な社会を

NPO法人もつたないフードバンクとなみ(砺波市)

食品ロス削減、貧困問題が解決される社会を目指し、全国でフードバンク活動が推進されています。今回は、砺波市で活動を行う「NPO法人もつたないフードバンクとなみ」の理事長・嶋村さんに、活動への思いを伺いました。

Q 設立の経緯は？

私は砺波市議会議員在任中、生活困窮者の方々を垣間見ることがありました。一方、日本では食料自給率が4割(カローラーベース)を切っているにも関わらず、処分せざるを得ない食料は年間約600万トンと言われており、これは日本の米の生産量に相当します。

議員退任後、この矛盾した2つの問題を結びつけ、処分せざるを得ない食料を預かり、本場に食料を必要としている人や場所に無料で届ける、フードバンク事業

が大切であると痛感しました。そこで

昨年7月、各方面の団体等の協力を得て設立しました。



昨年7月の出発式の様子

Q 現在の活動は？

食品会社も多く、人々の助け合いの精神あふれる富山県において、明日食べるものがないという人がいるにもかかわらず、それを解決できるような行政の仕組みや活動が行われていないという現状があります。

フードバンク活動を行うことで、企業は処分コストの削減ができ、地域の社会貢献につながり、環境負荷の軽減といった効果も期待できます。

生活困窮者は食料の支援を受けることによって、節約をすることができた食費を就職活動等に使うことができるようになり、生活に余裕ができます。



乾麺や調味料などの食料を預かり必要としている人に届ける

そのような支援とあわせて、年中無休(14時～18時)で活動を展開しています。

Q 今後の活動、目標は？

現在は17名の正会員で運営しています。今後、企業や家庭等の協力を拡大し、食品ロスを減少させ、フードバンクを地域社会の仕組みとして定着させたいです。また食を通じて人の縁を結び、お互いが助け合う「困った時はお互い様」な社会、「もつたない」を「ありがと」に変えることが当たり前の社会になることを目指しています。



(右から) 会員 村井文子さん、理事長 嶋村信之さん、副理事長 藤井裕一さん、会員 中山幹雄さん

○問い合わせ先

NPO法人もつたない
フードバンクとなみ
砺波市深江1098-114
理事長 嶋村信之さん
TEL 090-2098-5227

福祉用具展示品のご紹介

県社協 県介護実習・普及センターからのお知らせ

当センターでは、高齢者や障がいのある方の在宅生活がより豊かで快適になるよう、ご本人に適した福祉用具の選び方や住まいづくりなどに関するご相談をお受けしています。また、必要に応じて自宅への出張相談(無料)も行っています。今回は当センターの展示品の中から、今年展示した2点をご紹介します。

薬杯 ノメール



服薬補助容器です。

【特徴】

- ① 薬がこぼれにくい持ちやすい形状です。
- ② 薬に直接、手が触れないので感染予防になります。
- ③ 薬が口内に入れやすい形状になっているので、錠剤・カプセル・散剤・水剤をこぼさず飲むことができます。

【メーカー】

介護用品企画販売クララ

【参考価格】

クリアタイプ 300円(税抜)
カラータイプ 330円(税抜)

ZA FREE



【特徴】

一般の便座に比べ、便座前部が7cm広くなっています。そのため、様々な動作が、スムーズにかつ衛生的に行えます。また、奥行きが13cmあり、ゆったり深く腰掛けられます。便座のみの交換が出来ます。

【メーカー】

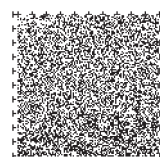
さつき株式会社

【参考価格】

110,000円(税抜)

○問い合わせ先

県社協 県介護実習・普及センター
TEL 076-43216305



ボランティア
グループ紹介

趣味の音楽で人々の心を癒し 自分たちもパワーをもらう

香香ミュージック(射水市)

射水市内在住のメンバーで活動する、音楽ボランティアグループ「香香ミュージック」。結成のきっかけは、射水市社協主催の音楽レクリエーションボランティア養成講座でした。養成講座が開かれた後日、射水市社協の呼びかけによって受講者が集まる会が開かれ、平成30年2月から活動をスタートしました。



代表 葛葉 典子さん

メンバーに共通するのは音楽が好きであること。それぞれが得意な楽器ややってみたい音楽を持ち寄り、月1回程度、射水市の地域ふれあいサロンと介護予防事業や福祉施設などで披露しています。プログラムの内容は会場に合わせて変えています。披露する曲のジャンルは民謡、

クラシック、童謡、歌謡曲、わらべ歌まで幅広く、使用する楽器もハーモニカ、三味線、ミュージックベル、キーボードなど多彩です。歌はメンバーが合唱したり、ときには参加者のみなさんと斉唱や輪唱すること。最後に必ず披露する「今日の日はさようなら」という曲は、手話を交えて歌い、参加者のみなさんも一緒に手を動かします。

「趣味の音楽で、参加された方に笑顔と健康を届けたい」と代表の葛葉さん。また「演奏を聞いていただくことが私たちの励みとなります。みなさんからもパワーをもらっていきたい」と話します。

養成講座で初めて知り合ったメンバーたちですが、代表の葛葉さんをはじめ、会計の境さん、練習場所と人の連絡調整を



庄西コミュニティセンターでの活動の様子



ミュージックベルを用いた演奏も

問い合わせ先

射水市ボランティアセンター
0766-5515202

担当高安さんなど、それぞれが役割を持ちながら、個々のペースに合わせて活動しています。今後の目標は、スキルアップのための講習を受けること。一緒に活動するメンバーを増やしたいという思いもあります。これからも趣味の一貫として音楽を楽しみながら、笑顔と健康を届けていきます。

令和3年度東海北陸ブロック

市区町村社協研究集会 報告

11月16日、県社協と市町村社協職員をメンバーとした実行委員会が、令和3年度東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりましたが、オンライン会議ツールZOOMを用いたオンライン開催とし、都道府県・指定都市・市町村社協の職員171名にご参加いただきました。

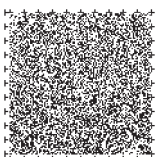
といったテーマに基づき、社協の役割や職員としてどう地域と関わるかなどといった点について意見を共有しました。令和4年度は石川県で開催される予定です。

はじめに行った全体シンポジウムでは、「今、社協だからできること」地域共生社会に向けた包括的支援の取り組みから考える」をテーマに氷見市社協の森脇氏と黒部市社協の濱松氏からお話を伺いました。富山国際大学村上教授の進行・助言のもと、職員が丸となって個別支援を丁寧に行っていくことの重要性や、多機関協働による包括的支援体制の構築について学びを深めました。

午後の分科会では、それぞれ「個別支援の在り方」「企業等との連携」「地域資源の開発」



全体シンポジウム
富山国際大学村上満教授



企業のトップが考える「地域との共生」

富山県生活協同組合
代表理事・専務理事

寺岡 富美夫氏



事業を通して 地域を支える

生活協同組合は助け合いの組織です。一人ではできないことも、みんなの力を合わせれば実現できるという考えを基本に運営しています。地域の組合員の困りごとを聞き、ともに暮らしを支えていくことが使命です。

現在は宅配、福祉、生活支援、共済・保障、くらしのサービス

の5本の柱で事業を展開しています。コロナ禍においては非接触ニーズが高まり、宅配サービスの利用が大きく増えました。また、近年は過疎化の影響や、高齢者の運転免許自主返納の流れなどにより、「車がなくて買い物に行けない」「お米や水などの重いものが持てない」といった買い物に関する困りごとが増えていることから、宅配サービスの重要性は高まっていると感じています。

同時に、県内全域に宅配の仕組みがあることを活かした事業の可能性を模索しています。7年ほど前からスタートした夕飯宅配は、利用者の75%が65歳以上です。一人暮らしの高齢者が増えていると言われているなかで、我々が栄養バランスの取れた夕食をお届けすることで、食と健康の面からみなさんのお役に立ちたいと考えています。

宅配を通して 地域の見守り活動を

宅配は毎週同じ曜日の同じ時間に、同じ担当者が商品をお届けしています。組合員や高齢者と直接お会いする機会が多く、変化や異変にも気づきやすいという特長を生かして、職員全員で地域の見守り活動を実践しています。実際に玄関先で倒れていた方を発見したり、ベッドから起き上がれなくなっている方に声をかけて助けた事例もありました。

そういった緊急時に迅速な対応をするために、県内の15市町村すべてと「地域見守り活動に関する協定」を締結しました。組合員や高齢者の異変に気付いた場合には、事前に取り決めた行政の連絡先に速やかに連絡・通報を行う体制をとっています。また、毎日100台以上走っているトラックは「こども110番のくるま」として、登下校中の

子どもの見守り活動を行っています。

昨年12月には、魚津市と「包括連携協定」を締結しました。これは地域の見守り活動にとどまらず、高齢者福祉、地域福祉、子育て支援、女性の活躍、災害時対応支援など、より幅広い項目で協力していくという内容です。魚津市をモデルケースとして、今後は他の市町村にも発展させていきたいと考えています。

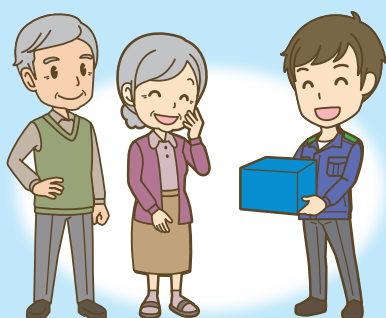
新しい生協として 歴史的な一歩を

組合員の生涯にわたる暮らしへの役立ちをさらに高め、富山県内の地域困難課題を解決する一員として我々が成長していくために、今年の4月には「生活協同組合CO・OPとやま」と合併し、「とやま生活協同組合」という一つの組織になります。組合員は合計約13万7千人となり、富山県内の世帯加入率は



約33%。3世帯に1世帯が新生協の組合員となります。一つの大きな力となることで、商品やサービスの充実を図るだけでなく、地域の見守り活動なども強化していけると考えています。

合併後の新生協では「私たちは力を合わせ、誰も取り残さない、平和で心豊かな地域社会を創ります。」という理念を掲げています。これからも自治体や企業と協力しながら、誰もが安全安心に暮らせる地域社会づくりに努めてまいります。





ねんりんピック かながわ2022

神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔

未病改善でスマイル100歳

◆ねんりんピックってなに？

全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、60歳以上の方々を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化、健康と福祉の祭典です。

◆開催予定種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、パタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、水泳、グラウンド・ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、太極拳、軟式野球、ターゲット・バードゴルフ、ダンススポーツ、パークゴルフ、スポーツウエルネス吹矢、囲碁、将棋、健康マージャン

- コロナ禍で2年連続中止となりましたが、今年、神奈川県内26市町を会場に4日間の日程で開催されます。
- この大会に選手として参加されたい方は、県内の選考会に参加する必要がありますので、下記までお問合せください(既に選考会が終了している種目があります)。

[参加資格]2023年4月1日時点で60歳以上の方(昭和38(1963)年4月1日以前に生まれた方)

〇問い合わせ先 **いきいき長寿センター** TEL 076-432-6010



シニアタレント・語り部を 派遣します

県社会福祉協議会いきいき長寿センターでは、永年にわたって培われた豊富な経験・知識・技能などの一芸に秀でた高齢指導者をシニアタレント・語り部として登録し、当センターホームページでご紹介しています。

地域の行事や子どもたちの活動などに講師として派遣いたします。是非ご活用ください。

世代間交流を目的として左記の機関・団体等が行うイベントを対象に講師謝礼の一部を助成する制度もあります。

●派遣講師

当センター登録の「シニアタレント」並びに「語り部」

●対象機関・団体など

- (1) 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院、専門学校、塾及びそれに類する機関
- (2) 概ね上記の生徒により構成されたサークルなど

- (3) 世代間交流を目的としたイベントの主催者・施設等(公民館、児童会など)
- (4) その他、当センターが認めた事業の主催機関・団体など

☆助成金申請方法

所定の申請書による。

〇問い合わせ先

いきいき長寿センター
TEL 076-432-6010

富山大空襲の体験談



保育園でのマジックショー



ご寄付ありがとうございます
ごさいます

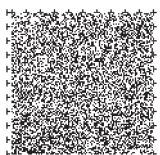
12月8日、県総合福祉会館においてJA富山県女性組織協議会(以下、JA県女性協)より、本会へ食料品を寄贈いただきました。

この食料品はJA県女性協が11月27日に開いた大会で行ったフードドライブ活動で寄付されたもので、JA県女性協の谷井会長から本会専務理事 柴雅棋へ食料品計371点(53キロ)とその一覧表が手渡されました。

この食料品は、東部生活自立支援センターへ来所した相談者に配布します。



JA県女性協 谷井会長から県社協 柴専務理事へ食料品と一覧表を贈呈



県社協のおもな動き

3月日程	行事名	場所
4 (金)	3月度日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
8 (火)	ケアネット活動評価委員会 福祉サービス苦情解決研修会	サンシップとやま オンライン
10 (木)	ケアネットリーダー研修(富山)	サンシップとやま
15 (火)	心配ごと相談員・民生委員児童委員 相談援助技術研修会	市町村会館
17 (木)	主任児童委員・児童委員合同研修	富山国際会議場
18 (金)	県社協 正副会長会議	サンシップとやま
24 (木)	県共募 理事会 ケアネットリーダー研修(高岡)	サンシップとやま 高岡生涯学習センター
25 (金)	県社協 理事会・評議員会	サンシップとやま
28 (月)	富山県福祉人材確保対策会議	高志会館
30 (水)	県災害福祉広域支援ネットワーク 協議会	サンシップとやま
4月日程	行事名	場所
27 (水)	とやま福祉・介護職員 合同入職式2022	サンシップとやま

ご寄付ありがとうございます

- 寄付者一覧 令和3年10月16日から令和4年2月15日まで
- 匿名 600,000円
- 一般社団法人富山県市町村職員年金者連盟 様 467,000円
- 故 布目トミ 様 100,000円
- 日本海ガス株式会社 様 100,000円
- 公益社団法人生命保険ファイナンシャル
アドバイザー協会 富山県協会 様 100,000円
- 大日商事株式会社 様 3,000円



12月21日(火)、日本海ガス株式会社 取締役 エネルギーズソリューション本部長 高野光由様(左)から県社協 柴雅棋専務理事へ「第59回ガス展2021」の収益金から寄付金を贈呈



1月31日(月)、JAIF富山県協会様(左側)から県社協へ寄付金目録の贈呈(左側から臼木賢司副事務局長、村井喜代美副会長、馬場智毅会長)

県内の社会福祉事業振興や地域福祉推進のために活用させていただきます。

編集後記

「困ったときはお互い様」。その精神を強く感じたのは、昨年の大雪でした。地域住民が協力しながら雪かきをし、スタックした車がいたら助け合う。何かきっかけさえあれば行動できると実感した出来事でした。そのきっかけづくりとして、大人を対象とした福祉教育カリキュラムは有効だと思います。私たち一人ひとりが改めて福祉について考え、次世代にその思いをつないでいけたらいいですね。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

- ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>
- メール info@toyama-shakyo.or.jp

ハーティは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。



Free Talk

「とやま大地の会」
みんなの居場所



ひきこもり家族自助会とやま大地の会
代表 山岡 和夫さん

とやま大地の会は、2001年3月にスタートし、21年間、250回を超える月例会と会報の発行を継続しています。ひきこもりという共通の課題をもった家族、当事者、支援者の分かち合いと学びの場です。

一般社団法人ひきこもりU-X会議による、『ひきこもり白書2021』所収の「緊急アンケート」コロナ禍におけるひきこもり・生きづらさについての調査2020(2020・12～2021・1実施)では、397名(うち「現在ひきこもり」229名)の声を集計しています。が、支援機関(病院、支援機関、居場所)の

利用など、支えにしていた外出機会が減少し、取り残され感が増すなど、ひきこもり当事者のメンタルヘルスへの影響が深刻であることが明らかにされています。このように、コロナ禍は、社会とつながることに困難を感じている「ひきこもり」の人にも大きな影響を与えています。

県内でも多くの行事や諸会合が中止となりましたが、本会が月例会を継続できたのは、会場の「サンシップとやま」研修室を使わせていただくことができ、家族や当事者からは開催を希望する声が寄せられたからです。

を控える方も少なくなく、一昨年4月の例会参加は、10年間で最も少ない8名でしたが、地元紙に、本会が20周年を迎えた記事が掲載され、親族に強く勧められて来たという初参加の方もありました。会報を読んだ会員から、電話で、「参加できなかったが、皆さんと一緒にいる気持ちになれうれしかった」という声も寄せられました。

これからも、どなたも参加されると「ホッとできて元気になる」活動をめざして継続していきたいと思えます。

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会は

住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

